

01 とちぎニュービジネス協議会 5月例会レポート

◆2022年5月20日(金) 18:00~20:00 ◆オリオンスクエア(宇都宮オリオン市民広場)

「JNB全国フォーラムへGO! 相席シナジーピッチ」



令和4年5月20日5月全体例会がオリオンスクエアで行われました。

久しぶりの大規模なリアル例会となり、会員及び会員企業より51名、オブザーバー44名、計95名もの参加をいただきました。今回の例会は、短時間で自社をプレゼンするピッチとコミュニケーションを学び、それを即実践していただく場として<相席ピッチ>の場を設けさせていただきました。オブザーバー様の参加もありましたので、より多くの方とコミュニケーションの機会を得ていただけたかと思えます。会場は大いに盛り上がり、久しぶりにリアルで再会する事により、会員同士の結束も深まりました。また、新規メンバーが増え、新しいビジネスの創造と地域社会の発展に寄与できればと思えます。会場もコロナ対策で屋外となりましたが、興味を持たれる方もおられ、TNBCの対外的なアピールにも繋がったかと思えます。最後に初の会場にての例会で至らぬ点があったかと思えますが、参加の皆様へ感謝申し上げます。

<JNB全国フォーラムへGO!>自分づくり委員会 副委員長
富久田三千代

記事募集

「新事業を開始した」「新たに営業所を出した」「新会社を設立した」「取引先を探しています」など、どのような記事でも結構です。事務局までお寄せください。



コラム

メタバース



メタバースを一言で表すならば、インターネット上で提供されている仮想空間や仮想現実の世界です。そしてそれは遠くない未来におけるインターネットの当たり前の姿になるとも言われています。メタバースではリアルな社会同様、世界中から参加者を集め、一人一人アバターとして人格を持ち、社会活動や経済活動を行うことが可能な空間になっています。メタバースが注目されている背景には、新型コロナウイルスの影響で外出が減り、急速にコミュニケーションのデジタル化が進んだことが言えます。人が多く集まるイベントをオンラインで開催する際にメタバースが活用されています。例えば毎年多く人が集まるハロウィンイベントを仮想空間で行う地域もありました。

既存の類似サービスとしては、2000年代に大ブームになった米リンデン・ラボ「セカンドライフ」（仮想空間で、現実世界とは別の生活を送ることができる）や、これもコロナ禍の巣ごもり生活でブレイクした任天堂のゲームソフト「あつまれ どうぶつの森」（架空の無人島でスローライフを楽しめる）などがあります。

これらが、現在志向されているメタバースと違うのは、あくまで画面上の2次元の世界にとどまっていること。次世代メタバースではVR（仮想現実）技術の長足の進歩によって、自分（アバター）が3次元の世界に直接入り込み、他者とその空間を共有しているかのようなリアリティを得ることが可能になりました。仮想空間を覗き込むのか、その中の一員になるのかの違いと言えばいいのでしょうか。

メタバースの活用は今後もさらに広まっていくことが予想されます。今後様変わりしつつある社会で、メタバースが私たちにどのような実りをもたらし、私たちがどのように活用できるのか、今後も注目していくと新しいビジネスチャンスが見つかるかもしれません。